

今後の検討の進め方

1. 今後の検討の進め方（予定）

各専門部会を中心に分野別・論点別に具体的な施策等を検討しながら、ビジョン策定に取り組んでいく。

	令和4年度	令和5年度				令和6年度
策定委員会	第1回 (合同開催) R4年9月28日 ・まちづくりに関連する現況 ・浅草地区の将来イメージ ・今後の検討の進め方	第2回 R5年2月15日 ・部会検討状況 ・今後の進め方	第3回 R5年7月頃 ・部会検討状況 ・取組みの方向性	第4回 R5年10月頃 ・部会検討状況 ・中間案の方向性	第5回 R6年1月頃 ・部会検討状況 ・中間案の確認	第6回 R6年5月頃 ・最終案の確認 ・今後の検討
まちづくり部会 (ソフト)		第2回 R5年1月30日 ・調査結果共有 ・課題解決に向けた論点(1, 12)	第3回 R5年6月頃 ・課題解決に向けた論点(2, 3, 4) ・地域のまちづくりの状況	第4回 R5年9月頃 ・課題解決に向けた論点(7~11) ・まちの将来象	第5回 R5年12月頃 ・課題解決に向けた論点の総括 ・中間案の検討	第6回 R6年4月頃 ・最終案の確認 ・今後の検討
基盤整備部会 (ハード)		第2回 R5年2月8日 ・調査結果共有 ・課題解決に向けた論点(1, 12)	第3回 R5年7月頃 ・課題解決に向けた論点(5, 6) ・地域での取組み	第4回 R5年9月頃 ・課題解決に向けた論点(7~11) ・基盤整備の方向性	第5回 R5年12月頃 ・課題解決に向けた論点の総括 ・中間案の検討	第6回 R6年4月頃 ・最終案の確認 ・今後の検討

※スケジュールについては、議論の進捗に応じて変更の可能性有

※ビジョンの策定にあわせて社会実験の実施も検討

【参考】各論点の議論の予定回

回遊・滞在	にぎわいをひろげる取組	論点1：ウォーカブルな空間づくり 歩行者専用化・トランジットモール化 歩道の拡幅整備 滞留空間・広場等のオープンスペースの創出 スクランブル交差点化	まちづくり部会② 基盤整備部会②	防災・避難	防災力の向上	論点7：普段から安心して過ごせるまちづくり 建物の更新に合わせた旧耐震施設更新 建物の更新に合わせたオープンスペースの確保 スーパー堤防整備 無電柱化の推進 建築物の耐震化の促進 日常的な防災意識や備えの充実	まちづくり部会④ 基盤整備部会④	
		論点2：浅草・日本の魅力を伝える観光プロモーションの推進 webコンテンツや広報誌の充実 フィルムコミッションによる周知活動の推進 多様な観光客を招致する取組みの推進				論点8：国際観光拠点にふさわしい防災機能の確保 一時滞在施設の充実 地域と連携した来街者避難体制の構築		
	おもてなし環境の整備	論点3：観光行動を支えるサービス環境の向上 受入環境の整備 観光バリアフリー情報の発信 誘導案内サインや観光マップの充実、更新 デジタル技術を活用した観光行動の支援	まちづくり部会③		水辺空間	水辺を活かした魅力づくり	論点9：隅田公園と一体となった水辺空間づくり 公園機能の充実 公民連携の空間活用推進 景観計画やガイドラインを活用した景観誘導	まちづくり部会② 基盤整備部会②
		論点4：歴史や文化を感じる魅力的な景観の創出 無電柱化の推進 景観計画やガイドラインを活用した景観誘導 エリアマネジメントによる道路空間の活用 商店街環境整備の支援					論点10：舟運を活かした活動の展開 船着場の一般利用の促進、利用案内の充実 東京都と連携した舟運活性化の取組み	
交通結節	だれもが使いやすい交通の仕組み	論点5：交通結節の整備 利便性の高いバリアフリー動線の整備 観光バス等の待機場所機能改善 放置自転車対策の推進	基盤整備部会③	地域力	地域力の創造	論点11：柔軟で持続可能なまちづくり 建物の更新に合わせた多様な機能導入 子育て世代などあらゆる世代を支える環境整備 デジタル技術を活用したサービスの構築 体験型コンテンツの充実	まちづくり部会② 基盤整備部会②	
		論点6：多様な交通手段による周辺地域との回遊性向上 シェアサイクルの推進、新モビリティの導入 総合的な交通情報、観光サービス提供等、統合化の推進 交通事業者と連携した回遊行動を促すサービスの提供				論点12：公民連携のまちづくり 事業者等と連携した企画実施 事業者向けの各種相談、セミナー等啓発支援 学校教育等と連携した子供へのシビックプライドの醸成 エリアマネジメント団体及びまちづくりプレイヤーの育成		